



魅力をお伝えします。

百年公園が花菖蒲に彩られる季節となりました。友の会の皆様には、日頃から当館の運営に格別のお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。とりわけコロナ禍で、友の会の行事の中止や当館の一時的な休館を余儀なくされた中、皆様からのご支援が何より心強く、あらためて感謝申し上げます。

この四月に館長を拝命し、知的な刺激に満ちた日々を気持ち新たにしております。開館四十六年の歴史と伝統を大切に次代へ受け継ぎながら、博物館に対する時代の新たな要請に応えるべく、前例のない取組みにも果敢に挑戦していきたいと考えています。

さて、本年度も多彩な特別展、企画展を開催する予定です。開催中の「蔵出し！骨のあるやつ」の紹介は次頁に譲りますが、前期・後期の二部制で八月末までの間、たっぷりとその

展を開催する予定です。開催中の「蔵出し！骨のあるやつ」の紹介は次頁に譲りますが、前期・後期の二部制で八月末までの間、たっぷりとその



秋からは、「発見！いにしえの岐阜」で、一九六〇年代以降の発掘調査で得られた考古学的成果を弥生・古墳・古代の時代に注目して紹介します。観覧の皆様と発見当時の感動を共有します。続いて冬には、「パレオアート作品展」を開催します。科学的根拠に基づいた古生物の復元画、復元模型の展示のほか、期間中のワークショップで実際の模型を制作します。そして別途、デジタル技術を活用した恐竜骨格の鑑賞法を新たに導入します。

年明けは、NHK大河ドラマ「どうする家康」の放映を契機に、「家康の時代的美濃（仮題）」を開催予定です。

また、常設展示では、このたび当館の誇る刀剣展示コーナーを刷新し、大変迫力あるものとなりました。引き続き、当館の原点ともいえる「岐阜県にゆかりのあるもの」へのこだわりを随所に散りばめながら、展示の内容や手法を工夫していきます。さらに、当館解説員による臨場感溢れる解説を補うものとして、スマホアプリによる手

軽な解説も充実させていきます。

展覧会以外では、友の会と共催いただく「けんばく教室」や「わくわく体験」はこのGWも大盛況でした。時宜にかなったテーマで高い関心に応える「博物館学芸講座」と共に、教育普及活動の中心として重点的に推進していきます。

以上、いずれもご期待に沿える内容かと存じます。ぜひ当館へお出かけいただきますよう、お待ちしております。



この春、三年ぶりに伝統継承のため開催された祭りがあった一方、やむなくその歴史に幕を下ろす決断をされた祭りもありました。困難な状況の中、関係者のご尽力にただ敬意を表するばかりですが、当館も各種事業を通じて、社会教育施設、文化施設としての役割をできる限り果たしてまいります。そしてその際、県内外の博物館はもとより、地域の様々な主体との連携も模索していきたいと思っています。

友の会の皆様には、どうか今後も温かいご支援を賜りますと共に、当館の運営に関して忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。

「蔵出し！ 骨のあるやつ」(2)

岐阜県博物館 学芸部 説田 健一

現在、岐阜県博物館では、岐阜大学との連携展「蔵出し！ 骨のあるやつ」を開催中です。後期はさまざまな脊椎動物の骨格を多数展示しますが、ここでは、ぜひ、見ていただきたい資料をいくつか紹介したいと思います。

(1) カメの骨格

カメの骨格は変です。背中の甲羅に肋骨や椎骨が付いているため、内臓は腹側の甲羅で守られています。したがって、肩甲骨は肋骨の内側にあります。みなさんの肩甲骨はどこにありますか？

(2) 鳥類の骨格

当館は鳥類の骨格標本をたくさん所蔵しています。惜しみなく紹介したいと考えていますが、鳥は骨になってしまうと、見分けるのはとても難しいです。

(3) ダチョウ組が製作した骨格

当館では、ダチョウ組というボランティアグループが活動しています。ダチョウ、タンチョウ、オオアリクイ等々、これまでに製作した骨格標本を紹介します。会期は8月28日までです。ぜひお越しください。

前期(頭骨)4月23日(土)～6月26日(日)

岐阜県博物館本館4階 企画展示室

後期(骨格)6月28日(火)～8月28日(日)

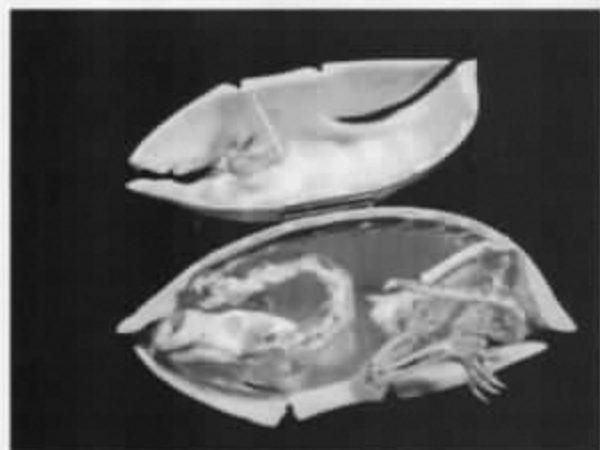
岐阜県博物館本館4階 特別展示室

開館時間 9:00～16:00(入館は16:00まで)

休館日 月曜日(但し、7月18日(月・祝)は開館
7月19日(火)は休館)

入館料 一般340円(280円) 大学生110円(50円)
高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金です。



▲ホオアカドロマ
全身骨格(断面)



▲アオゲラ

◀ダチョウ

つながる、ひろがる錦絵展

岐阜県博物館 学芸部 松井 絵里子

令和4年4月23日から5月22日まで岐阜県図書館で「つながる、ひろがる錦絵展」を開催しました。

岐阜県博物館に所蔵された錦絵の中から、二枚以上が組みとなって一つの構図・場面を表した「続絵」を今回新たに所蔵した8点を含めた28点用意し、錦絵の色彩の美しさとともにスケールの大きさが感じられる展示となりました。

今回の展示のポスターに使用されたのが、新たに所蔵された「和漢獣物大合戦之図」(月岡芳年)です。この作品は日本と外国の獣による合戦を描いたもので画面左に陣取った黒熊を大将とする日本勢には、犬・猿・馬・猪・兎など、同じく右の白象を大将とする外国勢は虎・豹・山羊などの兵卒が表情豊かに描かれています。作品が描かれた前年の安政6年(1859)は神奈川(現在の横浜)・長崎・箱館が開港して外国との貿易が始まったことで江戸市中の物価が上昇し、攘夷の機運が高まった時期でもありました。そのような時代背景を「戯画」として表した面白い作品となっています。

〔その他の出展作品〕

歌川国芳「源三位頼政退治」

落合芳幾「猿蟹敵討之図」等

今後とも錦絵を紹介する機会を設けていきますので、ぜひご来館ください。



▶月岡芳年「和漢獣物大合戦之図」

みんな知ってる?岐阜の花 ～自分のまちの自然シンボル～

岐阜県博物館 学芸部 土屋 寿美

岐阜県の花は何が知っていますか?木は?鳥は?魚は?博物館のある関市の花は?問われると意外と知らないことが多いです。自分の県や市町村の自然シンボルは郷土の花選定運動に端を発し、岐阜の花「レンゲソウ」は昭和29年に制定されました。レンゲソウはゲンゲ(紫雲英)ともいい、マメ科ゲンゲ属の越冬草(秋に発芽して冬を越し、翌年成長して枯れる植物)です。中国原産で、緑肥として広く栽培され、野生化もしています。岐阜県南部ではよく見ることができ、白花の品種(シロバナゲンゲ *A. albiflorus* S. Okamoto)も確認されています。

ゲンゲの花をじっくりみることがありますか?ゲンゲの花はマメ科でよくみられる蝶形の花を8個前後つけた、散形花序であることに気づくことができます。また、ゲンゲの花からは上質なはちみつが取れることから、明治時代に岐阜県の渡辺寛氏が「養蜂之友」を発刊して養蜂を全国に広めました。そうしたことも含め、岐阜県でよく見ることのできるレンゲソウが県花として制定されたといわれています。

他にも岐阜では県木「イチイ」、県鳥「ライチョウ」、県魚「アユ」が制定されています。関市でも、市の花は「キク」、木は「スギ」、鳥は「カワセミ」、魚は「アユ」が制定されており、加えて色「わかくさ色」もあります。自分のまちの自然のシンボルは何が調べてみると、ふるさとについて新たな発見がみつかるかもしれません。今後の博物館自然展示もお楽しみください。



▲ゲンゲ *Astragalus sinicus* L.

マイミュージアムギャラリー 第2回展示
「岐阜の虎画の伝統と歩み」
令和4年6月4日(土)～7月3日(日)

岐阜県博物館 学芸部 浅野 伸保

令和4年度の第2回目は、野村玉蕉(のむらぎょくしょう)氏による「岐阜の虎画の伝統と歩み」を開催します。

岐阜の虎画の始祖の大橋翠石は渡辺小華に学び、明治33年パリ万博で金牌を受賞し、一躍動物画家として名を馳せるようになりました。翠石出現後、岐阜一帯では虎画を描く画家が多く生まれ、中でも玉置頼石は翠石に礼接し、研鑽に励み、多くの門弟を導き、一家を成して日本動物画協会を主宰しました。

玉置頼石門弟の佐久間頼峰、森田玉仙らの死後、野村玉蕉氏と高松邦仙氏が師頼石の遺跡を継ぎ現在に至っています。今回は野村玉蕉氏の作品とコレクションを展示いたします。



大橋翠石 秋林観子

教育普及係より

「けんぱくデジタル展示室」を設置しました

岐阜県博物館 学芸部 則竹 裕嗣

一昨年から猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で例年より入館者数は減少しております。このような状況下で、リモート授業を実施したりデジタルコンテンツを追加したりして、来館しなくても博物館を楽しめるよう工夫してきました。ここではこの3月に設置した「けんぱくデジタル展示室」を紹介いたします。

県博物館にはどれくらい収蔵資料があるかご存じでしょうか。約14万件の収蔵資料があり、その中で実際に展示されているのは1万件ほどです。つまり収蔵資料全体の7%しか目にしていません。「けんぱくデジタル展示室」では、収蔵庫に保存している各分野の資料合計80件について、館内で拡大や回転して閲覧できるようになっています。(ホームページからは24件閲覧できます。)



「けんぱくデジタル展示室」の導入により、様々な視点で展示物を見ることができるとともに、博物館の魅力をより身近に感じることができると考えております。

友の会の皆様におかれましては、このようなデジタルコンテンツが導入されたことをお知らせの方々に広めていただければ幸いです。コロナ禍で入館者数は減少傾向にありますが、博物館が多くの方にとって身近な施設、利用しやすい施設になることを願い、これからも工夫を重ねていきたいと思っています。

昭和建機株式会社

ISO 9001
ISO 14001
ISO 45001

岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市

岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市
岐阜県岐阜市

岐阜県博物館からのお知らせ

○令和4年度がスタートしました



6名の新しい職員を迎えました。皆さまに清流の国ぎふの自然・歴史・文化により親しみ、誇りをもってもらえるよう頑張ります。よろしくお願いします。

今年も開催します!

- ◆授業に役立つヒントがいっぱい
国立科学博物館 提唱プログラム
2022教員のための博物館の日in岐阜県博物館
7月26日(火)～29日(金)9:15～12:00

6月～9月の展示・行事のご案内

- ◆企画展「蔵出し骨のあるやつ」
前期(頭骨)4月23日(土)～6月26日(日)
後期(骨格)6月28日(火)～8月28日(日)
※詳細は本編および前回の会報133号で紹介しています。
- ◆特別展「岐阜の考古学―弥生から古代―(仮)」
9月16日(金)～11月13日(日)
- ◆マイミュージアムギャラリーの展示
第2回「岐阜の虎画の伝統と歩み」
6月4日(土)～7月3日(日)
第3回「―そこには文化がありました―
漫画★アニメ 熱虫!夢虫!コレクション!!」
7月30日(土)～9月4日(日)
- ◆自然展示室Ⅱミニ企画展示
「あなたの知らない骨」 ～7月31日(予定)
「浅見化石会館のアンモナイト化石」 ～9月(予定)
- ◆岐阜県博物館主催イベント
「荘川化石フォーラム」
8月7日(日) 荘川総合センター(高山市荘川)

友の会事務局からのお知らせ

★令和4年度友の会の主な活動

- 会 議
 - ・10月13日(木) 秋季理事会
 - ・3月11日(土) 会長・副会長会議
- 委員会
 - ・会報委員会 4月14日(木)
 - ・探訪の旅委員会 6月下旬
 - ・七草委員会 11月下旬
- 友の会報 3回発行
 - ・134号(6月)、135号(10月)、136号(2月)
- 博物館との共催事業
 - ・特別行事 「七草がゆをたべよう」1月7日(土)
 - ・けんぱく教室・わくわく体験
- 図録の刊行 (3冊)
 - 企画展 「骨のあるやつ改訂版」
※定価1000円好評販売中です。
 - 特別展 「岐阜の考古学―弥生から古代へ―(仮)」
 - 特別展 「パレオアート作品展」
- 探訪の旅
 - 春の探訪：【中止】
 - 宿泊探訪：実施が決まりましたら、会員のみなさまには8月以降に郵送でお知らせします。



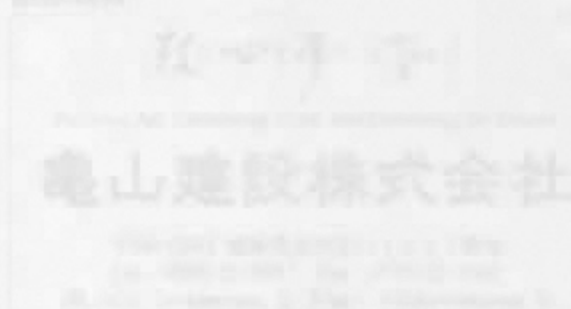
★今年度の岐阜県博物館の催事について

新型コロナウイルス蔓延防止のため、当初予定していたイベントや講演会が中止・変更となることが今後もあります。博物館HPやツイッター、またはお電話で随時ご確認願います。

★ミュージアムショップについて

この数年でグッズの種類を充実させました。ご来館の際にはショップもぜひご覧、ご購入ください。会員のみなさまには割引価格でご購入していただけます(一部除外品あり)。

岐阜県



岐阜県

